

昭和53年度漁協貯金目標額 一一九〇億円決定

信 漁 連

昭和四十九年度以降推進したが、一兆円達成運動にきてきた一兆円達成運動それなりの貢献することが、公書、異常気象による天候の不順、二〇〇カイル規制等、全国的に幾多の障害があったにもかかわらず、これを乗り越え、当初計画最終年度五十三年度を前に、一兆円達成運動が達成された。

さて、一兆円達成のあと、本県においては、五十二年度末漁協貯金の残高二億六千八百円となり、計画では一億八千八百円の積戻しはありま

柴山港漁協

水産庁長官賞受賞

第五回漁協共済推進全国大会



受賞される漁協代表者

全国水産業協同組合共済共済推進全国大会が、去る六月十五日、奈良県立文化会及び全国漁業共済組合連合会共同主催の第五回漁協共済推進全国大会において開催され、兵

鹿野から昭和五十二年年度に漁協共済推進に優秀な成績をおさめられた漁協を、兵部大臣賞として、総額四十一名の御参加をいただきました。

大会は、全国漁業協同組合連合会及び川平会長及び伊東正義会長のあいさつの後、全国で漁協共済の発展に寄与された優秀漁協の表彰が行われ、本県として水産庁長官賞を受賞した柴山港漁協協同組合をはじめとした八漁協が表彰された。

二百海里時代の突入とともに、漁業者の組織活動の中心となる漁協の役割はますます重要なものとなっており、一方経営と暮らしをまもる共済事業もまた、漁協活動の一環として、十分に機能するものとならなければならぬ。こうした情勢を踏まえて、全国の漁協関係者の参加により、

**全利用
みんな知ってる
忘れてる**

（）全国漁協貯蓄二兆円達成を目前とし、本年度自主増加目標額二十九億円を既定し、期末残高目標額二十九億円の達成をはかる。この計画の基礎となった目標額

億円の達成をはかる。この計画の基礎となった目標額

（）全国漁協貯蓄二兆円達成を目前とし、本年度自主増加目標額二十九億円を既定し、期末残高目標額二十九億円の達成をはかる。この計画の基礎となった目標額

しかし、目標額にこだわることなく、浜におきろいろな問題に打ちかち漁家貯金を最大限漁協に集中し、漁協資金の充実にせよ。漁業経営を安定させよう。漁協資金は、組合員みんなのものです。各自貯金目標をたてられ、各貯金目標額を達成して下さい。

なお、七月に入り、五日に浜播磨区、六日に淡路海区、八日に但馬海区で、それぞれ、地区推進連絡協議会を開催いたし、各漁協の理解を得て、盛会のうち各自自主目標が確認され、目標達成のための基本方針が示されました。

基本方針

よる漁協点検結果をもとに、体制の整備、強化並びに事務処理の適正化をはかり、金融機関としての基盤を確立する。

各漁協別に貯蓄推進委員会を組織し、貯蓄推進委員金を残高上限五億円達成運動でございまして、ご協力をお願い致します。

力強く前進を開始

播磨地区漁協職員協議会

通常総会開催

昨年8月30日に「明るく豊かな漁村作り」をめざして設立された播磨地区漁協職員協議会が、本格的な活動を始めるため着々とその準備を進めてきたが、その6月28日に第1回の通常総会を開催し、いよいよその目的達成のための事業を開始いたしました。

その内容は以下のとおりです。

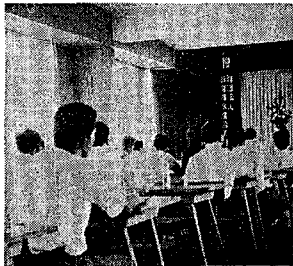
一、漁業協同組合の発展と近代化のため知識の向上をはかる研修会の開催。ことを約し、盛会のうちに協議会設立のため、淡路地改選された区漁協職員協議会との連携を図り、並びに但馬地区漁協職員協議会設立のための支援。

三、会員の福利厚生、および相互の親睦に関する事項。

四、系統団体の行う事業や運動に対する協力。

五、その他の達成に必要事項。

（家島漁協） 岡村 重一
（岩見漁協） 池田 良一
（林崎漁協） 坂口 煌
（高砂漁協） 上田 常雄
（坊勢漁協） 長沢 恒男
（網干漁協） 水田 恵三
（江井ヶ島漁協） 野村 弘
（室津漁協）



昨年総会風景

昭和53年度漁協貯金目標額

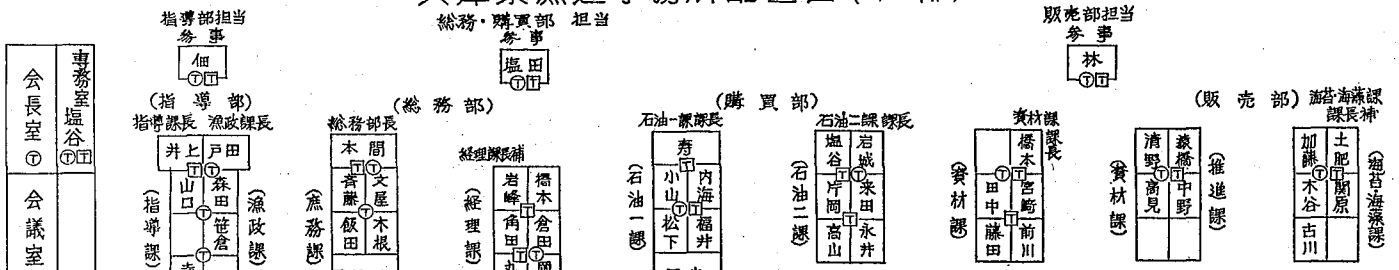
(単位: 千円)

区分	53年3月末貯金残高	本年度増加目標額	54年3月末目標額	計画伸び率
播磨	6,519,668	835,000	7,354,000	12.8%
淡路	5,183,431	725,000	5,909,000	14.0%
但馬	14,455,912	1,340,000	15,796,000	9.3%
県合計	26,159,011	2,900,000	29,059,000	11.1%

(貯金目標額)

。五十三年度末現在残高 二六・一億円
。五十四年度末現在目標残高 二九・〇億円
。期中純増加額 二・九億円
また、五〇億円六千年度達成のための貯蓄増強プログラム、重点項目、具体的実施事項等いろいろの問題がありますが、来たる二十六月に開催する貯蓄推進大会でこれらを確認の上、貯蓄増強運動に邁進する所存でございまして、ご協力をお願い致します。

兵庫県漁連事務所配置図(本部)



2月の漁況と海況

●海況

※播磨灘(上旬)……東部では各層8.6°Cを示し平均比較で-0.5°C低目、北西部各層8.4°C~8.6°Cで-0.1°C~-0.3°C、南西部各層9.1°C~9.3°Cで-0.1°C~-0.4°Cそれぞれ低目で前月迄続した高水温分布は1月中旬からの相次ぐ大型寒波の来襲で水温下降が著しく全域にわたって平年並からやや低目に経過した。

※大阪湾(淡路島側下旬)……北部では各層9.0°Cで平年並、南部では各層10.0°C内外で平年並からやや低目で播磨灘同様暖冬から一転して寒冷型に移行した。

※紀伊水道北部(下旬)……東部では表・中層10.4°C、底層12.8°Cで表・中層は平年並、底層+0.9°C、中部では表・中層11.8°C、底層12.5°Cで+1.1°C、西部では9.9°C~10.6°Cで+0.9°Cと~-1.5°Cと~-西西部での高目が目立った。

●漁況各地 (注・以下は1日1隻当りの漁獲量、@は1キロ当りの平均単価目、何隻は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網メイタカレイ6キロ@4,000@2,500、アマカレイ7キロ@800、アイナメ5キロ@1,500、オコゼ3キロ@6,500@4,500、アナゴ6キロ@1,150、コイチ10キロ@400、マダコ7キロ@1,500@900、17隻(大阪湾北西部夜曳)。メイタカレイ10キロ@3,000@1,500、アマカレイ10キロ@650、イイダコ50キロ@子持1,500ナシ400、マダコ5キロ@1,250、アナゴ7キロ@1,000、オコゼ6キロ@6,000@4,000、25隻(播磨灘東部夜曳)。アイナメ3キロ@1,100、カサゴ25キロ@1,800@200、メイタカレイ4キロ@1,750、マダコ2キロ@1,150、コイチ300~500キロ@350、アナゴ3キロ@1,150、10隻(明石海峡夜曳)各一本釣スキ5キロ@1,550、アイナメ2キロ@2,800@1,800、40隻。アイナメ24キロ@6隻、延縄カレイ50キロ@1,300@800、6隻。突棒イイダコ20キロ@子持1,350なし400、イシカレイ7キロ@750、10隻。

※岩屋……小型底曳網アナゴ14キロ@1,300、キス6キロ@1,400、メイタカレイ3キロ@2,400、スズキ2キロ@900、15隻。曳網スズキ6キロ@1,600、70隻一本釣アイナメ9キロ@2,000、カサゴ1キロ@2,500、70隻。延縄アナゴ100~150キロ@1,400@400、10隻。刺網キス5キロ@2,400、グチ55キロ@350、10隻。イカナゴ船曳網1,500~2,000キロ、11隻。

※由良……小型底曳網キス3キロ@1,400、アナゴ7キロ@1,700、マダコ10キロ@1,280、メイタカレイ5キロ@3,000、その他15キロ@400、75隻の各一本釣スキ13キロ@1,340、30隻。カサゴ8キロ@1,420、30隻。マダコ4キロ@1,320、20隻。各延縄キス15キロ@2,200、ハゼ11キロ@980、8隻。カサゴ22キロ@1,420、グチ7キロ@500、4隻。アナゴ85キロ@1,410、4隻。各刺網キス17キロ@1,500、10隻。アマカレイ5キロ@1,500、アイナメ5キロ@1,800、その他7キロ@700、20隻。タコ籠網24キロ@1,420、2隻。突棒アワビ7キロ@1,700、サザエ5キロ@950、マダコ4キロ@1,260、10隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ1キロ@2,200、スズキ6キロ@1,000、ハリイカ3キロ@1,000、アナゴ30キロ@800、テナガタコ150キロ@150、42隻。一本釣マダイ4キロ@5,500、@4,200、@3,700、50隻。延縄アナゴ30キロ@800、3隻。刺網カサゴ、グレ6キロ@850、メイタカレイ1キロ@1,600、サザエ3キロ@850、アワビ1キロ@3,000、@1,500@235。突棒ナマコ20キロ@500、8隻。

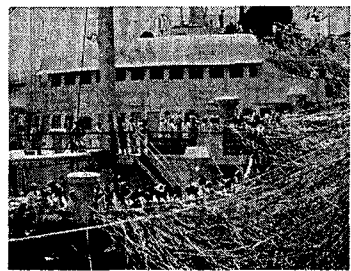
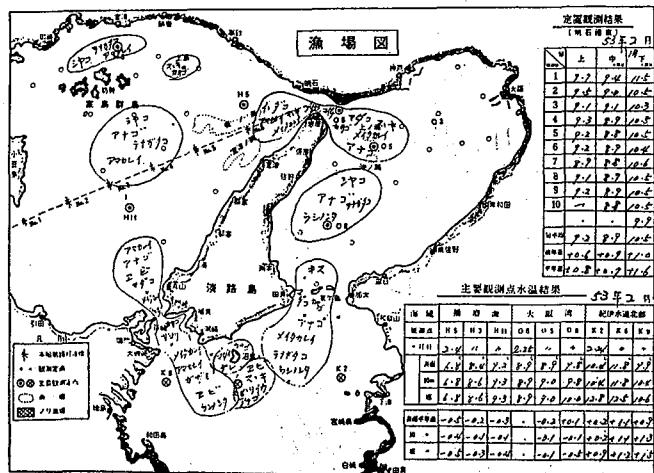
※福良……小型底曳網メイタカレイ5キロ@2,000、アイナメ5キロ、@1,500、アナゴ3キロ@1,000、カサゴ2キロ@1,300、アカエイ10キロ@350、キス2キロ@800、オコゼ1キロ@4,500、マダコ2キロ@1,200、アオシタ5キロ@2,200、18隻(消網)。メイタカレイ5キロ@2,000、アマ、イシカレイ15キロ@600、アオシタ5キロ@2,200、ジャノメガザミ20キロ@800、8隻(桁網)。シラサエビ1キロ、@8,000、カワツエビ1キロ@2,500小エビ9キロ@活400(死)100、ガザミ2キロ@2,000、アカシタ3キロ@1,000、雑魚10キロ@1,200、2隻(エビ桁網)船曳網サヨリ50キロ@2,000、30隻。一本釣カサゴ8キロ@1,500、メバル3キロ@1,300、16隻。各延縄アマカレイ33キロ@650@450、キス2キロ@1,900、25隻。アナゴ120キロ@1,200。4隻。各突棒アワビ8キロ@2,500、イソガイ30キロ@450、ナマコ(青)40キロ@300、(赤)1キロ@700、25隻。ウニ70枚@900、5隻。

●本月の特記事項

※タコ類 大阪湾北西部、明石海峡、播磨灘東部海域ではマダコが全般的に不漁であるが、反面昨年不漁であったイイダコ、また沼島南部域ではテナガタコの豊漁が続いている。

※コイチ 県下内海全域で秋期より来遊量が増加して好漁が続いているが、特に2月下旬より明石海峡中央部の深所で小型底曳網1日1隻当り300~500キロ、魚体は1~2キロの大型魚の爆発的な入網をみているがこの現象は過去に例がなく極めて稀なことである。

※アナゴ 全域で好漁が持続し各地の延縄で岩屋100~150キロ、由良で85キロ、福良で120キロが目立ちまたキロ当りの平均単価も1,200~1,400円と高値安定で経過している。



洋大生(出港)「ボート大会」

自立と連帯を求めて

第八回兵庫県青年洋上大会

昭和53年6月8日五百名以上のコースを要する玄海線、のスタッフやリーダー及びをめぐり関門海峡を巡る五島列島を右手に見ながら南下して一万人のコースを離れ、神戸港を離れた。6月9日 豊霧と潮流の関門海峡を渡り、6月11日朝 天津港に着き大連への第一歩を踏み、盛大に歓迎を受ける中、バスと列車に乗り継ぎ北京市に向う。夕刻に着き、夜は北京市革命委員会の招待を受けレセプションに出る。中国大陸の第一日を夜を向える。

海技従事者試験合格者判明

去る五月二十日より一ヶ月に亘り開催の海技従事者試験(乙種二等航海士、丙種航海士)の後神戸海運局(船長)で六月二十一日より技術試験官による臨時国家試験二十五日の間執行された。

熱のこもった講義



熱のこもった講義

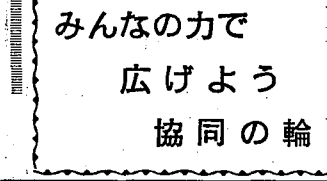
その結果が二十九日発表された。合格者は但馬海部の沖合底曳、沖合いかづり漁船の乗組員であり今後の活躍が期待される。乙種二等航海士合格者 船合渡、秦敏雄、脇宗雄

その結果が二十九日発表された。合格者は但馬海部の沖合底曳、沖合いかづり漁船の乗組員であり今後の活躍が期待される。乙種二等航海士合格者 船合渡、秦敏雄、脇宗雄

その結果が二十九日発表された。合格者は但馬海部の沖合底曳、沖合いかづり漁船の乗組員であり今後の活躍が期待される。乙種二等航海士合格者 船合渡、秦敏雄、脇宗雄

公正で豊かな社会を
第56回国際協同組合デー
兵庫県記念大会

農 業 会 館



合の連帯と相互支援を強め、全世界の働く人々の経済的、社会的な発展をおしすすめるよう全力をつくそう」と力強くICA宣言を行った。記念式典はこうしてとこおりにくすみ、アトラクションに今年は神戸生協の「まやコロラ」が引き込まれた。このコースの途中、場内の全員が引き込まれた。このコースの途中、場内の全員が引き込まれた。このコースの途中、場内の全員が引き込まれた。

イワシの味を食卓に

主婦ら4千人に無料配布



無料配布におしよけた主婦たち (明舞団地)

淡路地区漁青連 200カマ時代の到来で、消費者にとって頭の痛い魚価高がつづいているなか、淡路地区漁青連(会長、井村春六)では「淡路の新鮮な魚を、たくさん食べて下さい」と6月24日、イワシの無料配布を行った。

明舞センター商店街前広場で行われた。この催しに集まった主婦たち4千人は、淡路の青年部員から漁獲されたばかりのイワシをもらい、ホクホク顔で家に急いだ。当初、この計画は大丸前歩行者天国で実施されることとなっていたが、保健所警察署等との交渉の結果、実施が困難となり、急遽、場所を変更し「明舞センター商店街前広場」で実施されることとなった。

配布されたイワシは津名町連合青年部員が中心となつて津名町漁協から出漁、午前6時に大坂湾でとれたもので、約4トンを保冷車に満載して直行した。これがかまイワシのとおり新鮮なもの。

会場では、配布開始時間の正午前から主婦たちが長い行列をつくり大混雑。このため、予定を30分早めて配布を開始。大漁旗が飾られればと期待している。



片手にイワシ、片手に...

れた保冷車からはトロ箱が次々に出され、青年部員の手から一人あたり一キロのイワシをプレゼントした。4トンのイワシはアツという間になくなり、配布をうけなかつた主婦もかなりの盛況であった。

同連合会では、この成功を機会に、淡路のおいしい魚が多くの人に食べてもらえればと期待している。

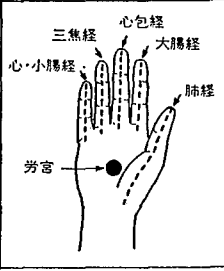
海をきれいに安全に

海の旬間 7月20～31日

自己診断のすすめ

(丸石健保だよりより抜粋)

中指は心包経に通じています。図に示す「労宮」というツボを中指でもんもんで、このツボを押しつぶすと、心臓が熱いと感じ、指が赤くなる。これは心臓が熱いことを示しています。心臓が悪いと、労宮のツボが熱いと感じ、指が赤くなる。これは心臓が熱いことを示しています。



いつも内側に曲がっているようでは、心臓が弱く消化吸収も満足にできないから、虚弱な体質とみてよいでしょう。いつも医者との縁が切れないから、常に食事や運動に注意し、体質改善に心がけるべきです。

指の動きを知る。指の動きは、指の使い方を誤ると、内臓へ影響がでる。内臓の働きが弱ると、指の動きが悪くなる。指の動きが悪いと、内臓の働きが弱くなる。指の動きが悪いと、内臓の働きが弱くなる。

中指の先が、貧血で細く、きを考えればわかること。

(次号につづく)

四海を海に閉められた我が国にとって、国民生活と切離すことのできない海洋環境の保全と海上における安全の確保の重要性を広く国民に知らせる「海の旬間」が7月20日から31日までの12日間わたって実施されます。

この催しは「海をきれいに安全に」一みんなの海があかるい明日をテーマに、運輸省が中心に、水産関係者等、海を生活の場とする人々をはじめとする、全国の参加を図ることにより、一般世論の盛り上げを喚起するもので、この旬間中は海上パレード、街頭行進をはじめとして、デモンストレーションのほか、青少年を対象とした図画、写真コンクールや海洋に関する講習会、映画が開催されます。

また、7月20日の「海の記念日」に、東京および地方海運局所在地で海事功労者の表彰が行われます。

漁協生活の序幕 (一) 兄の換束を機会に平凡な中学生に戻った私は、人が変わったように勉強に打ち込み、一九二九年(昭和四年)最終年度の五年生生活を送った。これより先世界的経済不況と、震災の痛手のため実父の柳製紙製造販売は次第に苦境に追い込まれ、警察から戻った兄はこれを機会に神港商業学校を退学して父の店の従業員になり、我々三人の弟連は上級学校進学を諦めさせられていた。よってこれが最後の学生生活という感慨もありとにかく勉強に励んだ。今は何と云うのか知らないが、三角法、立体幾何、微積分の初歩を織り込んだ高等数学など面白かった。若山牧水の和歌、正岡子規の俳句、頼山陽の日本外史など文学の素養も培われ、また校長も一役買われ、マナーなど教えるに来た。そうして翌昭和五年(一九三〇年)三月三十一日(一五名)(一五〇名入学した)が四年修了で進学できた旧制高等学校への入学試験、留級、病没で減少した上からの留級もあって結局これだけ卒業)席次は実科組(非進学の)一学級編成されていた)三十五名中十一番だったからまあまあというところであつた。とにかく私に早稲田商店から一円ノフト帽を買って、それをかぶって在学中は当然禁止されていたカフエーに入り、一カブ十銭のコーヒーを飲み未成年者禁煙法を認識しつつ公然とコーヒーを飲むことにした。さて私には養家に戻るべき運命にあつたので、

漁協一代 (その七)

作 花 英 治

たものだった。カフエーというのは今日の喫茶店、スナックバーをいし、よくたいた飲食店で、和服に白エプロンの給仕女が居てラッパのついた蓄音器と称するレコードプレーヤーが置いてあつた。もとより重頭がいぐり頭の我々などお客の数にも入れてもらえない輩であるが、コーヒーを飲むためにカフエーに入るより他に方法がなかったのだ。中折帽は在生学生ではないということを確認する品であつた。

さて私には養家に戻るべき運命にあつたので、



一滴の燃料を生かす確かな技術

余裕の出力、曳き力抜群!

●船舶主機用3.0~2400馬力
●船舶補機用3.5~3600馬力

ヤンマーディーゼル

船舶主機 <内海底曳用> 3E15B形 <15馬力/1400回転>

ヤンマーディーゼル株式会社

いすゞ

マリンエンジン

UM06BBIB

高速への挑戦!

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

いすゞ自動車株式会社